

採点方法

提出された研究報告書は、内容面と形式面に分け採点される。

研究報告書を作成する際は、各テーマにおける論点整理はもちろんのこと、資料を収集・整理・分析し、考察や検討を行い、自分なりの結論得ることが求められていることを理解し、採点者を納得させるだけの内容となるように心掛けること。

主題の明確さ	テーマを踏まえ「テーマを明確に論じ」「自分の意見が反映されている」かどうか。
独創性	自分なりの知識や見識をもとに、文章に独自性が感じられるかどうか。
具体性	テーマのもつ「原因・背景や問題点等の分析」「自分なりの解決策等を提示」しているか。
説得力	自分の意見を支えるための論拠が、明確で説得力があるかどうか。
構成力	章立てなど、追論文を適切に構成する能力があるかどうか。
思考力	論理的展開力があるかどうか。
文章表現・表記	誤字脱字などの文章としての破綻がなく、意味が読み取れるかどうか。

～抜粋終わり～

なお、**コピーアンドペースト判定支援ソフト**を導入しチェックを行っています。複写や盗用が疑われる研究報告書の提出者については、「運営委員会での意見聴取」を行い、悪質と判断された場合には処罰する場合がありますので、十分に注意してください。（[過去の処罰例](#)[\[夏期課題研究\]](#))

※ 課題提出前に今一度ご確認ください。

研究報告書作成における以下の事項を遵守し、研究報告書を提出します。

- ルールを遵守し他の文献やウェブサイトからの引用には引用符を用いてその出典を明らかにし、無断引用を行っていません。
- 他の補習生の研究報告書を参考にしたり、写したりしていません。
- 自身の経験等に基づく記述をする場合において、業務の過程で入手した情報など守秘義務の原則に抵触する記述を行っていません。
- 私は、AIソフト等を使用して文書作成を行っていません。